

大東保険コンサルティング、きょう営業開始

## 大東通商が分社化

### 業界に精通、強み

大東通商（中部由郎社長）はきょう16日、保険代理店事業を分社化し、全額出資の大東保険コンサルティングとして営業を開始する。社長は鎌田信行取締役財務部長が兼務する。

同社の保険事業は長年、マルハニチログループ各社の基幹代理店として水産・食品業界の損害保険を取り扱ってきた経緯があるが、ここで培ってきたノウハウすべてを新会社に継承、業界に精通した強みを生かして事業を拡大する。

また、生保分野では、がん保険や医療保険の扱いも経験が豊富。個人向け販売も強化し、近々ウェブによる募集ツールも公開する。ホームページが整備されれば、簡単な入力でお勧めの商品紹介、見積もり比較も可能となる。

分社化は「保険事業を成長分野として位置付け、第二の創業のつもりで一からすべて見直す」と、顧客志向を高めることを第一義とする鎌田社長は、「的確な提案力で差別化を図る。成長の過程でM&A戦略も当然視野に入れる」と意気込んでいる。

なお、大東通商はマルハニチロの筆頭株主である。